

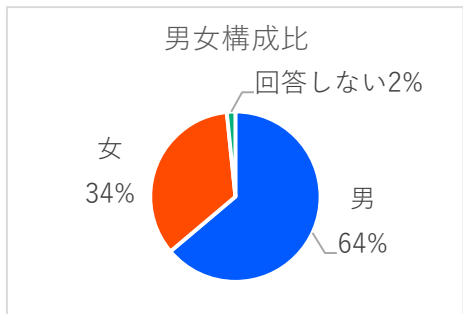
滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査について（令和7年6月～7月実施）

資料 4

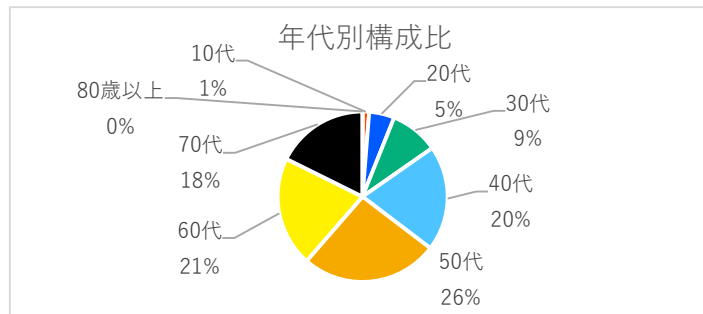
- ・調査対象：滝川市内に在住する18歳～80歳代の住民1,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法：郵送による配布・回収、HARPフォームでの回答
- ・調査期間：令和7年6月11日～7月14日
- ・回答率：24.9%（249人回答）

1.男女構成比、年代別構成比、町別回答数（単位：人）

①性別		
男	女	回答しない
159	86	4



②年齢							
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
3	12	23	50	65	52	44	0

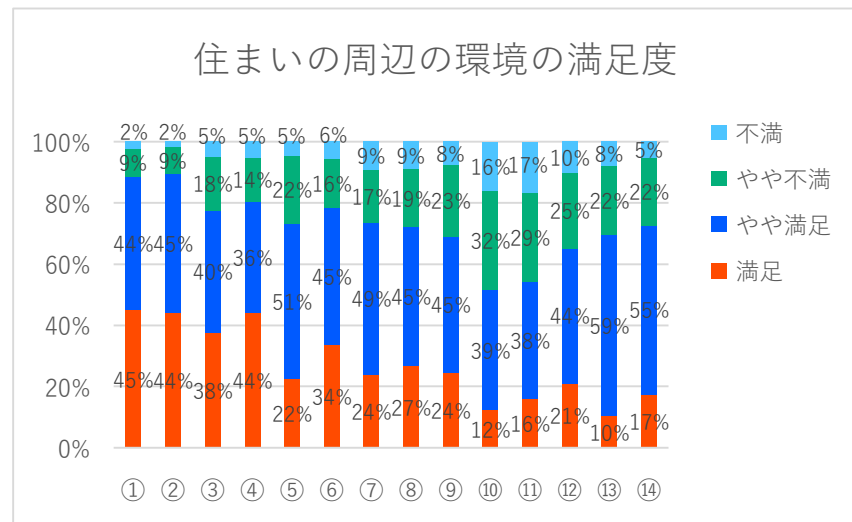


③町別																										
栄町	明神町	花月町	中島町	空知町	新町	東町	緑町	大町	本町	一の坂町	朝日町	黄金町	二の坂町	泉町	幸町	扇町	有明町	西町	北滝の川	滝の川町	屯田町	南滝の川	文京町	東滝川町	江部乙町	回答無し
8	4	7	9	5	9	29	7	16	5	8	22	12	7	15	6	9	5	23	5	4	2	1	1	5	12	13

2.住まいの周辺の環境の満足度

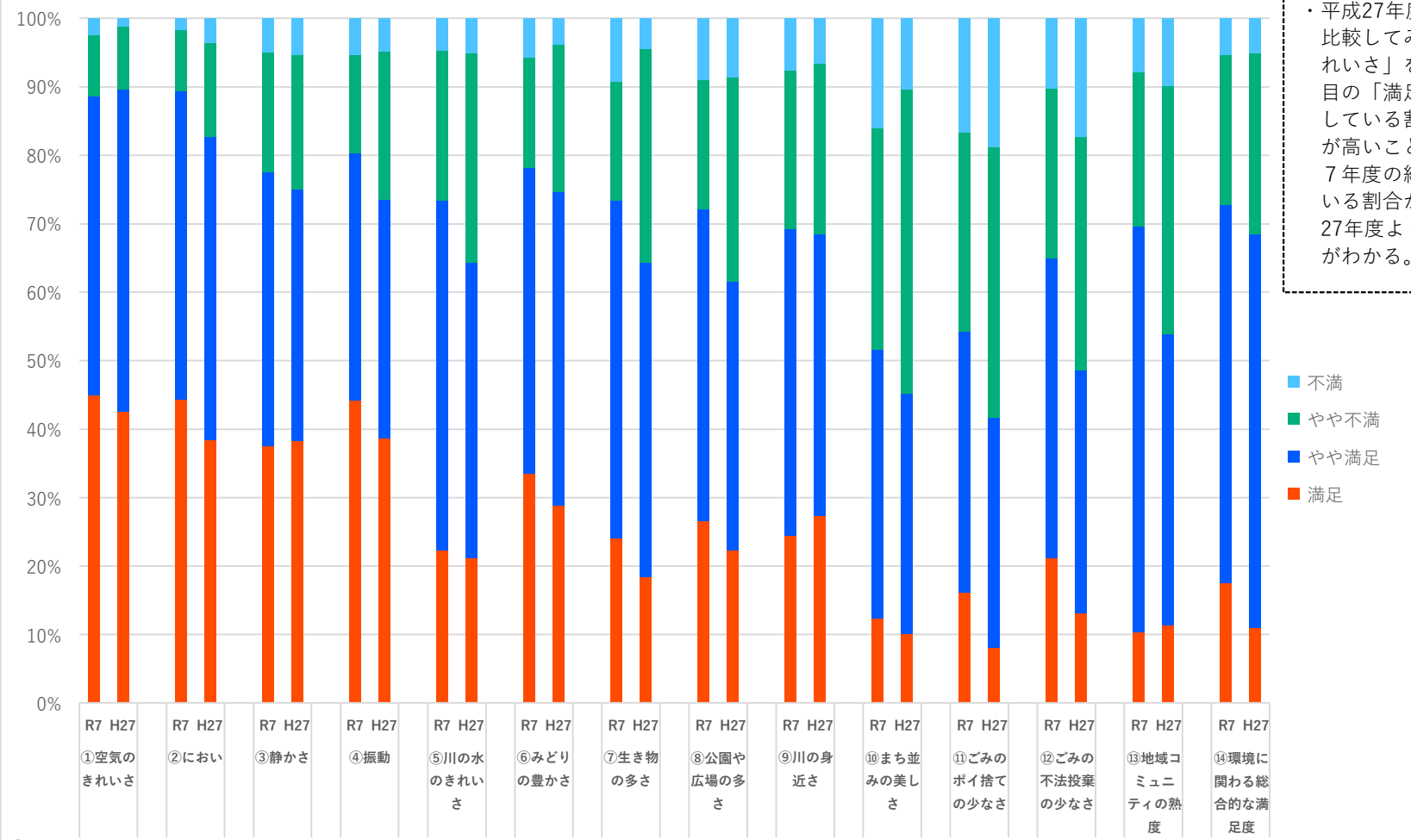
①～⑭の項目の満足度

番号	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①	空気のきれいさ	111	108	22	6
		45%	44%	9%	2%
②	におい	109	111	22	4
		44%	45%	9%	2%
③	静かさ	92	98	43	12
		38%	40%	18%	5%
④	振動	108	88	35	13
		44%	36%	14%	5%
⑤	川の水のきれいさ	52	119	51	11
		22%	51%	22%	5%
⑥	みどりの豊かさ	82	109	39	14
		34%	45%	16%	6%
⑦	生き物の多さ	57	117	41	22
		24%	49%	17%	9%
⑧	公園や広場の多さ	65	111	46	22
		27%	45%	19%	9%
⑨	川の身近さ	58	106	55	18
		24%	45%	23%	8%
⑩	まち並みの美しさ	30	96	79	39
		12%	39%	32%	16%
⑪	ごみのポイ捨ての少なさ	40	94	72	41
		16%	38%	29%	17%
⑫	ごみの不法投棄の少なさ	52	108	61	25
		21%	44%	25%	10%
⑬	地域コミュニティの熟度	25	143	54	19
		10%	59%	22%	8%
⑭	環境に係わる総合的な満足度	43	136	54	13
		17%	55%	22%	5%



・概ね住まいの周辺の環境には満足している人が多い中、不満に思っている割合が多い項目が「⑩まち並みの美しさ」、「⑪ごみのポイ捨ての少なさ」である。ポイ捨てされたごみによってまち並みが汚れていると不満を抱えている市民が一定数いることがわかる。

2.住まいの周辺の環境の満足度（平成27年度比較）

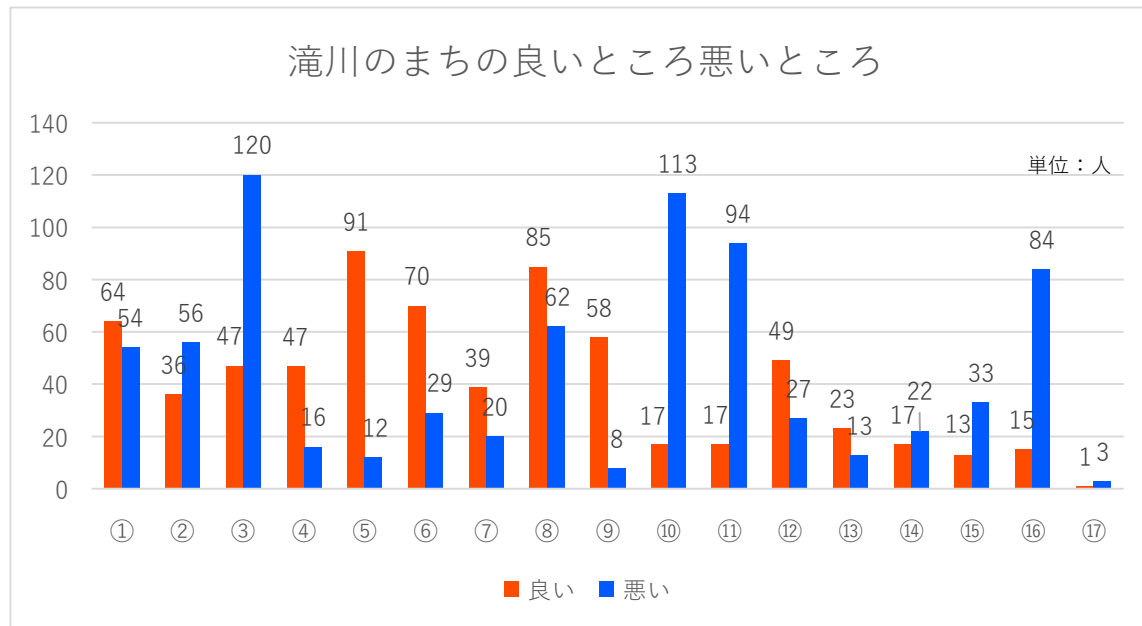


・平成27年度のアンケート結果と比較してみると、「①空気のきれいさ」を除く、それぞれの項目の「満足・やや満足」と回答している割合が令和7年度の方が高いことがわかるため、令和7年度の結果では不満に思っている割合が高い項目でも、平成27年度よりは満足していることがわかる。

3.滝川のまちの良いところ、悪いところ

①～⑰の項目（良い悪い合わせて5項目選択）

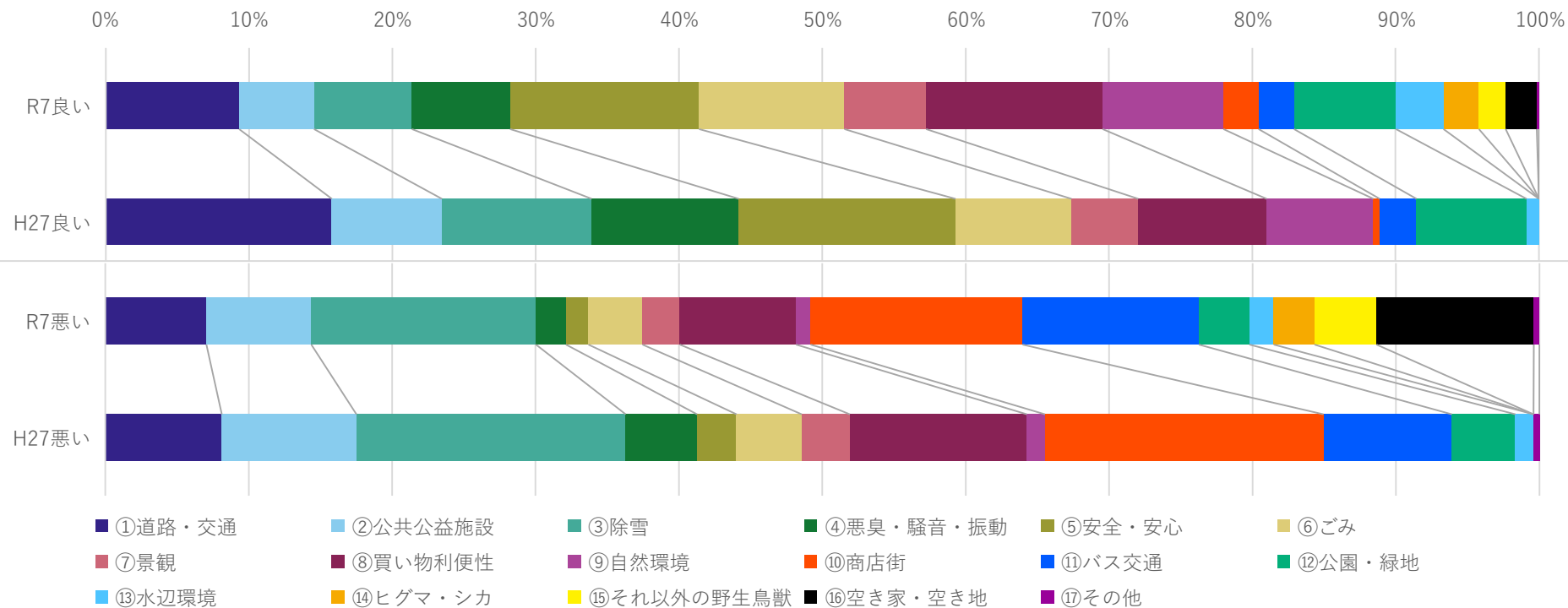
番号	項目	良い	悪い	差引
①	道路・交通	51	44	7
②	公共公益施設	30	47	-17
③	除雪	36	100	-64
④	悪臭・騒音・振動	37	11	26
⑤	安全・安心	77	10	67
⑥	ごみ	53	24	29
⑦	景観	33	17	16
⑧	買い物利便性	71	49	22
⑨	自然環境	48	6	42
⑩	商店街	12	90	-78
⑪	バス交通	14	72	-58
⑫	公園・緑地	40	20	20
⑬	水辺環境	17	10	7
⑭	ヒグマ・シカ	11	16	-5
⑮	それ以外の野生鳥獣	9	30	-21
⑯	空き家・空き地	11	66	-55
⑰	その他	0	3	-3



※その他の主な内容としては、街路灯や街路樹、カラスやキツネのことが挙げられている。

- ・良い数値が高かったのは、「⑤安全・安心」、「⑧買い物利便性」、「⑥ごみ」である。
- ・悪い数値が高かったのは、「③除雪」、「⑩商店街」、「⑪バス交通」、「⑯空き家・空き地」である。
- ・「⑧買い物利便性」について、良いと回答している人が多い一方、悪いと回答している人も一定数いることから、住んでいる地域によって考え方の差が出ていると考えられる。
- ・悪い数値が高かった項目と「2.住まいの周辺の環境の満足度」の「まち並みの美しさ」を並べて見ると商店街や空き家・空き地が整備されておらず、シャッター街や住居といったまち並みが汚れていると感じている市民が一定数いることがわかる。

3.滝川のまちの良いところ、悪いところ（平成27年度比較）



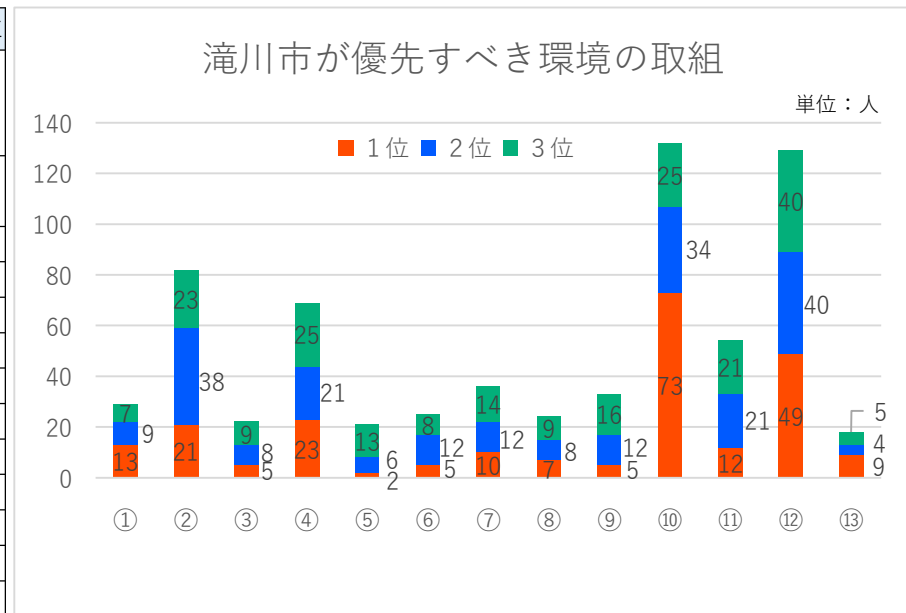
- ・平成27年度のアンケート結果と比較してみると、「⑥ごみ」、「⑩商店街」を悪いと回答している割合が減っているほか、「①道路・交通」を良いと回答している割合が減っている。
- ・新規で項目を追加した「⑯空き家・空き地」について回答している割合が一定数おり、市民の関心が高い項目であることがわかる。
- ・新規で項目を追加した中でも、「⑪バス交通」については悪いと回答している割合が増加し、不便を感じている市民が一定数いることがわかる。

4.滝川市が優先すべき環境の取組

①～⑬の項目（上位3項目選択）

番号	項目	1位	2位	3位
①	大気汚染（アスベストやダイオキシン）、水質汚濁（PFOSやPFOA）、騒音・振動・悪臭などの有害物質対策や公害防止対策	13	9	7
②	ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取組	21	38	23
③	山林などへの不法投棄対策	5	8	9
④	省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策	23	21	25
⑤	森林など自然環境の保全	2	6	13
⑥	野生動植物の保護、管理	5	12	8
⑦	環境教育や学習機会、情報の提供	10	12	14
⑧	農業体験や学習機会、情報の提供	7	8	9
⑨	緑や水辺とのふれあいづくり	5	12	16
⑩	道路、公園、景観など社会環境の整備	73	34	25
⑪	市民・事業者・行政による環境保全の協働の取組	12	21	21
⑫	空き家・空き地の適正管理や住環境の保全	49	40	40
⑬	その他	9	4	5

※その他の主な内容としては、除雪やポイ捨て、文化・芸術の振興、サイクリングロードの整備、人口減少に対応したまちづくりなどが挙げられている。



- ・優先度が高い環境の取組は、「⑩道路、交通、景観など社会環境の整備」、「⑫空き家・空き地の適正管理や住環境の保全」である。
- ・「3.滝川のまちの良いところ、悪いところ」の悪いとの回答が少ないにもかかわらず「②ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取組」の回答が多いことや、「④省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策」の回答が一定数あることから、ともに市民の関心が高いということが考えられる。

4.滝川市が優先すべき環境の取組（平成27年度比較）

令和 7 年度				
番号	項目	1位	2位	3位
①	大気汚染（アスベストやダイオキシン）、水質汚濁（PFOSやPFOA）、騒音・振動・悪臭などの有害物質対策や公害防止対策	5.6%	4.0%	3.3%
②	ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取り組み	9.0%	16.9%	10.7%
③	山林などへの不法投棄対策	2.1%	3.6%	4.2%
④	省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策	9.8%	9.3%	11.6%
⑤	森林など自然環境の保全	0.9%	2.7%	6.0%
⑥	野生動植物の保護、管理	2.1%	5.3%	3.7%
⑦	環境教育や学習機会、情報の提供	4.3%	5.3%	6.5%
⑧	農業体験や学習機会、情報の提供	3.0%	3.6%	4.2%
⑨	緑や水辺とのふれあいづくり	2.1%	5.3%	7.4%
⑩	道路、公園、景観など社会環境の整備	31.2%	15.1%	11.6%
⑪	市民・事業者・行政による環境保全の協働の取り組み	5.1%	9.3%	9.8%
⑫	空き家・空き地の適正管理や住環境の保全	20.9%	17.8%	18.6%
⑬	その他	3.8%	1.8%	2.3%

平成27年度				
番号	項目	1位	2位	3位
①	大気汚染、騒音・振動、水質汚濁や悪臭などの公害防止対策	11.0%	6.0%	5.1%
②	アスベストやダイオキシンなどの有害物質対策	5.4%	6.0%	3.3%
③	ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取り組み	19.3%	19.1%	8.9%
④	山林などへの不法投棄対策	6.5%	5.1%	3.3%
⑤	省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策	12.8%	14.3%	9.8%
⑥	森林など自然環境の保全	1.8%	4.2%	6.0%
⑦	野生動植物の保護、管理	1.8%	4.2%	8.3%
⑧	環境教育や学習機会、情報の提供	9.8%	12.5%	10.4%
⑨	緑や水辺とのふれあいづくり	2.4%	5.1%	8.6%
⑩	道路、公園、上下水道や景観など社会環境の整備	20.5%	15.2%	15.8%
⑪	市民・事業者・行政による環境保全の協働の取り組み	6.8%	7.2%	17.3%
⑫	その他	1.8%	1.2%	3.3%

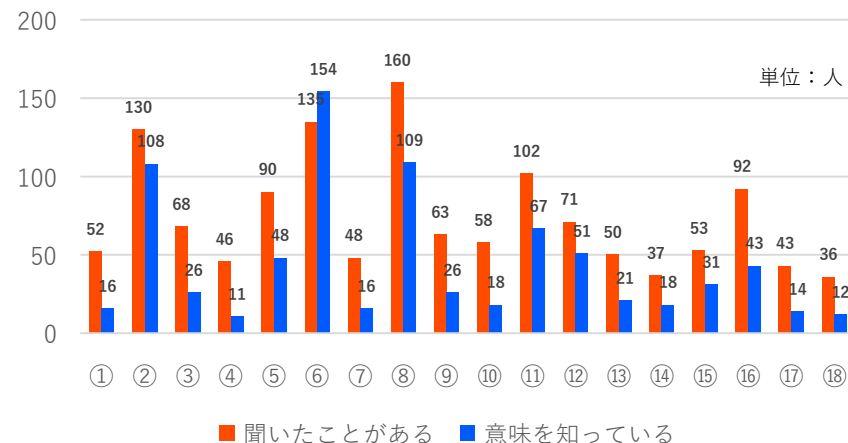
・平成27年度のアンケート結果と比較してみると、有害物質や公害防止、ごみに関する項目の割合が減っていることがわかる。これは平成25年度ごろから話題にあがっていたPM2.5の問題や平成26年度に市が行ったごみ処理料金の改定が要因となり、平成27年度当時に市民の注目を集めていたためだと推測できる。

5.環境に関連する単語の認知度

①～⑱の項目の認知度

番号	項目	聞いたことがある	意味を知っている
①	PFOS・PFOA	52	16
②	マイクロプラスチック	130	108
③	ケミカルリサイクル	68	26
④	サーキュラーエコノミー	46	11
⑤	循環共生型社会	90	48
⑥	SDGs	135	154
⑦	ZEH・ZEB	48	16
⑧	バイオマス	160	109
⑨	環境価値	63	26
⑩	GX（グリーントランスフォーメーション）	58	18
⑪	生物多様性	102	67
⑫	アーバンベア	71	51
⑬	クーリングシェルター	50	21
⑭	環境収容力	37	18
⑮	ウェルビーイング/ 高い生活の質	53	31
⑯	カーボン・オフセット	92	43
⑰	ネット・ゼロ	43	14
⑱	エシカル消費	36	12

環境に関連する単語の認知度



- ・聞いたことがあり、意味を知っている数値がともに高かったのは、「⑧バイオマス」、「⑥SDGs」、「②マイクロプラスチック」である。
- ・聞いたことがあると回答した人でも、意味を知っていると回答した人が少ないことから、環境に関連する単語の意味を理解してもらえるように啓発が必要と考えられる。
- ・「ウェルビーイング/高い生活の質」、「エシカル消費」など最近の単語について、回答率を見ると高齢者よりも若者の方が高い。

5.環境に関連する単語の認知度

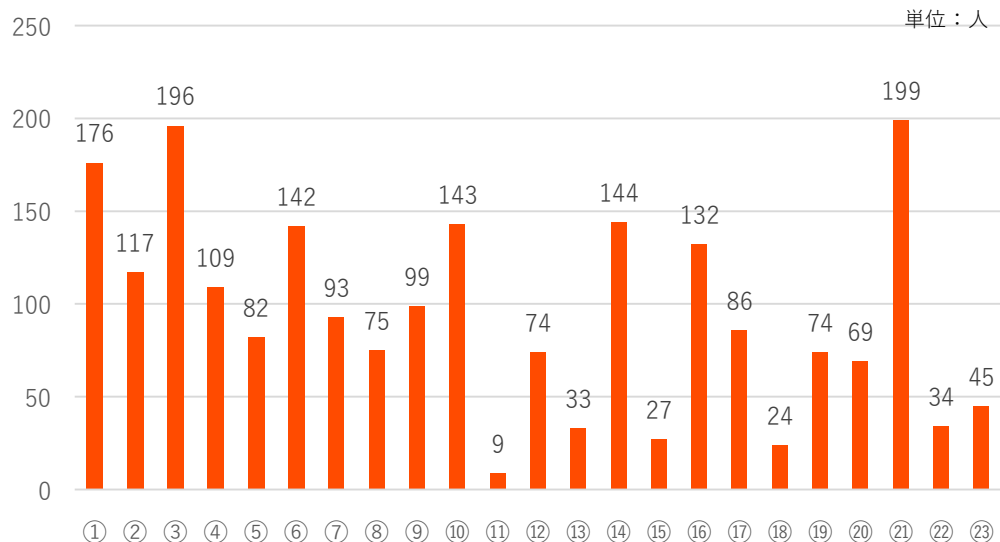
年代別認知度 (回答者数からの割合)			PFOS・PFOA	マイクロプラスチック	ケミカルリサイクル	サーキュラーエコノミー	循環共生型社会	SDGs	ZEH・ZEB	バイオマス	環境価値	GX（グリーン・トランスフォーメーション）	生物多様性	アーバンベア	クーリングシエルト	環境収容力	ウェルビーイング/高い生活の質	カーボン・オフセット	ネット・ゼロ	エシカル消費
聞いたことがある	10代	回答数 割合	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%
	20代	回答数 割合	4 33.3%	7 58.3%	2 16.7%	5 41.7%	8 66.7%	6 50.0%	2 16.7%	8 66.7%	5 41.7%	2 16.7%	7 58.3%	2 16.7%	5 41.7%	3 25.0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%	3 25.0%
	30代	回答数 割合	2 9.5%	12 57.1%	4 19.0%	2 9.5%	7 33.3%	16 76.2%	5 23.8%	15 71.4%	5 23.8%	5 23.8%	11 52.4%	7 33.3%	2 9.5%	2 9.5%	6 28.6%	6 28.6%	3 14.3%	4 19.0%
	40代	回答数 割合	13 26.5%	24 49.0%	18 36.7%	10 20.4%	20 40.8%	32 65.3%	14 28.6%	36 73.5%	17 34.7%	13 26.5%	20 40.8%	16 32.7%	10 20.4%	7 14.3%	10 20.4%	19 38.8%	8 16.3%	8 16.3%
	50代	回答数 割合	9 14.5%	32 51.6%	16 25.8%	12 19.4%	26 41.9%	38 61.3%	13 21.0%	45 72.6%	11 17.7%	17 27.4%	21 33.9%	14 22.6%	16 25.8%	9 14.5%	17 27.4%	28 45.2%	10 16.1%	10 16.1%
	60代	回答数 割合	12 23.5%	31 60.8%	14 27.5%	10 19.6%	18 35.3%	22 43.1%	9 17.6%	29 56.9%	14 27.5%	9 17.6%	19 37.3%	16 31.4%	11 21.6%	10 19.6%	9 17.6%	17 33.3%	9 17.6%	6 11.8%
	70代	回答数 割合	11 25.0%	21 47.7%	13 29.5%	6 13.6%	10 22.7%	19 43.2%	4 9.1%	24 54.5%	10 22.7%	11 25.0%	22 50.0%	13 29.5%	5 11.4%	5 11.4%	6 13.6%	16 36.4%	8 18.2%	4 9.1%
	総計	回答数 割合	52 21.5%	130 53.7%	68 28.1%	46 19.0%	90 37.2%	135 55.8%	48 19.8%	160 66.1%	63 26.0%	58 24.0%	102 42.1%	71 29.3%	50 20.7%	37 15.3%	53 21.9%	92 38.0%	43 17.8%	36 14.9%
意味を知っている	10代	回答数 割合	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	回答数 割合	2 16.7%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	10 83.3%	1 8.3%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%
	30代	回答数 割合	2 9.5%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	17 81.0%	1 4.8%	5 23.8%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	4 19.0%	0 0.0%	1 4.8%	5 23.8%	0 0.0%	1 4.8%	3 14.3%
	40代	回答数 割合	4 8.2%	22 44.9%	5 10.2%	3 6.1%	9 18.4%	32 65.3%	4 8.2%	21 42.9%	4 8.2%	5 10.2%	17 34.7%	8 16.3%	4 8.2%	3 6.1%	8 16.3%	9 18.4%	3 6.1%	1 2.0%
	50代	回答数 割合	4 6.5%	25 40.3%	4 6.5%	3 4.8%	11 17.7%	44 71.0%	6 9.7%	32 51.6%	7 11.3%	5 8.1%	14 22.6%	11 17.7%	7 11.3%	5 8.1%	11 17.7%	13 21.0%	3 4.8%	5 8.1%
	60代	回答数 割合	2 3.9%	28 54.9%	8 15.7%	1 2.0%	14 27.5%	30 58.8%	3 5.9%	25 49.0%	9 17.6%	5 9.8%	16 31.4%	15 29.4%	7 13.7%	7 13.7%	3 5.9%	15 29.4%	4 7.8%	1 2.0%
	70代	回答数 割合	2 4.5%	22 50.0%	7 15.9%	3 6.8%	10 22.7%	19 43.2%	1 2.3%	20 45.5%	4 9.1%	1 2.3%	12 27.3%	11 25.0%	2 4.5%	1 2.3%	1 2.3%	4 9.1%	2 4.5%	1 2.3%
	総計	回答数 割合	16 6.6%	108 44.6%	26 10.7%	11 4.5%	48 19.8%	154 63.6%	16 6.6%	109 45.0%	26 10.7%	18 7.4%	67 27.7%	51 21.1%	21 8.7%	18 7.4%	31 12.8%	43 17.8%	14 5.8%	12 5.0%

6.環境保全に関する取組で実践していること

①～⑳の項目（複数選択可）

分野	番号	項目	該当
騒音	①	近所に配慮して音楽など大きな音は出さないように気をつけている	176
ごみ	②	ごみの清掃など、地域の環境づくりに協力している	117
ごみ	③	資源として再利用できるように、ごみを積極的に分別している	196
ごみ	④	無駄なごみの排出量を抑えるようにしている	109
資源循環	⑤	リサイクルショップを利用するなど使用済みのものを再利用している	82
資源循環	⑥	不要なものの購入を控えるようにしている	142
資源循環	⑦	壊れたものでも修理して使うようにしている	93
資源循環	⑧	飲食物購入時には手前取りをしている	75
資源循環	⑨	過剰包装は断るようになっている	99
省エネ	⑩	電気の使用量の削減など省エネを心がけている	143
再エネ	⑪	太陽光発電など再生可能エネルギーを使っている	9
省エネ	⑫	LEDや自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）など省エネ設備の導入に努めている	74
省エネ	⑬	自家用車の使用を控えるようになっている	33
省エネ	⑭	自家用車で急加速や急発進を控え、一定の速度で走行するなどエコドライブを実践している	144
自然	⑮	自然環境にふれたり、自然観察会などに参加している	27
自然	⑯	水を無駄にしないように気をつけている	132
野生鳥獣	⑰	野山に入るときにヒグマに注意をしている	86
コミュニティ	⑱	環境問題などを話題にするようにしている	24
農業保全	⑲	地元の食材を活用するなど地産地消を心がけている	74
エコ	⑳	エコ商品を選ぶようにしている	69
エコ	㉑	エコバッグを使用するなど、レジ袋の使用を控えるようにしている	199
資源循環	㉒	廃食用油の無料回収を利用している	34
資源循環	㉓	古着・古繊維の無料回収を利用している	45

環境保全に関する取組で実践していること



・取り組んでいる数値が高かったのは、「㉑エコバッグを使用するなど、レジ袋の使用を控えるようにしている」、「③資源として再利用できるように、ごみを積極的に分別している」、「①近所に配慮して音楽など大きな音は出さないように気をつけている」である。

・取り組んでいる数値が低かったのは、「⑪太陽光発電など再生可能エネルギーを使っている」、「⑱環境問題などを話題にするようにしている」、「⑮自然環境にふれたり、自然観察会などに参加している」である。

・意識付けをすることによって達成できる手軽に取り組めるものを行っている人が多い。

・経済的な支出を伴う太陽光発電など再生可能エネルギーへの取組が少ない。

6.環境保全に関する取組で実践していること（年代別取組度（回答者数からの割合））

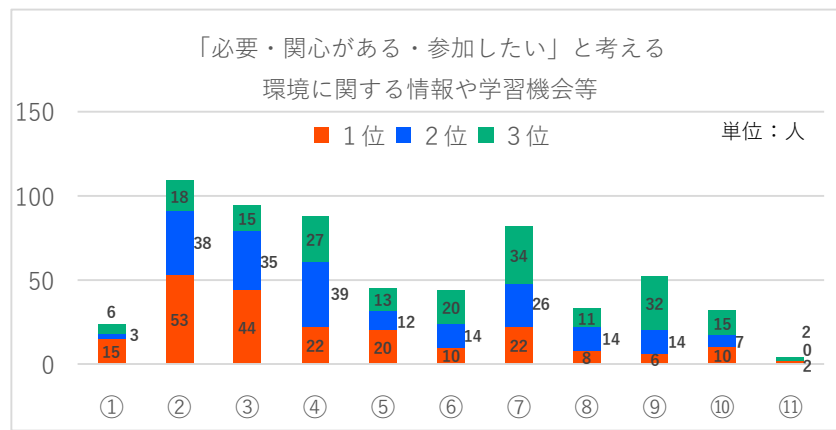
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
10代	回答数	2	2	2	2	2	2		1		1		1		1		3	1		1		3	1	1
	割合	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%	33.3%	33.3%
20代	回答数	11	6	7	4	3	5	3	6	4	7		5	1	7	2	8	3	1	3	4	7	2	3
	割合	91.7%	50.0%	58.3%	33.3%	25.0%	41.7%	25.0%	50.0%	33.3%	58.3%	0.0%	41.7%	8.3%	58.3%	16.7%	66.7%	25.0%	8.3%	25.0%	33.3%	58.3%	16.7%	25.0%
30代	回答数	16	5	15	6	8	15	7	11	11	10	2	3	4	10	3	10	5		8	3	21	2	4
	割合	69.6%	21.7%	65.2%	26.1%	34.8%	65.2%	30.4%	47.8%	47.8%	43.5%	8.7%	13.0%	17.4%	43.5%	13.0%	43.5%	21.7%	0.0%	34.8%	13.0%	91.3%	8.7%	17.4%
40代	回答数	34	13	33	17	19	27	19	13	20	24	3	10	4	28	9	23	21	5	10	11	35	8	6
	割合	68.0%	26.0%	66.0%	34.0%	38.0%	54.0%	38.0%	26.0%	40.0%	48.0%	6.0%	20.0%	8.0%	56.0%	18.0%	46.0%	42.0%	10.0%	20.0%	22.0%	70.0%	16.0%	12.0%
50代	回答数	48	34	54	34	19	37	29	19	31	40	1	23	8	38	4	32	25	7	20	20	50	8	12
	割合	73.8%	52.3%	83.1%	52.3%	29.2%	56.9%	44.6%	29.2%	47.7%	61.5%	1.5%	35.4%	12.3%	58.5%	6.2%	49.2%	38.5%	10.8%	30.8%	30.8%	76.9%	12.3%	18.5%
60代	回答数	34	29	45	20	19	29	18	17	17	32	3	18	6	37	6	29	18	7	17	11	43	4	10
	割合	65.4%	55.8%	86.5%	38.5%	36.5%	55.8%	34.6%	32.7%	32.7%	61.5%	5.8%	34.6%	11.5%	71.2%	11.5%	55.8%	34.6%	13.5%	32.7%	21.2%	82.7%	7.7%	19.2%
70代	回答数	31	28	40	26	12	27	17	8	16	29		14	10	23	3	27	13	4	15	20	40	9	9
	割合	70.5%	63.6%	90.9%	59.1%	27.3%	61.4%	38.6%	18.2%	36.4%	65.9%	0.0%	31.8%	22.7%	52.3%	6.8%	61.4%	29.5%	9.1%	34.1%	45.5%	90.9%	20.5%	20.5%
総計	回答数	176	117	196	109	82	142	93	75	99	143	9	74	33	144	27	132	86	24	74	69	199	34	45
	割合	70.7%	47.0%	78.7%	43.8%	32.9%	57.0%	37.3%	30.1%	39.8%	57.4%	3.6%	29.7%	13.3%	57.8%	10.8%	53.0%	34.5%	9.6%	29.7%	27.7%	79.9%	13.7%	18.1%

- ・年代別の差があれど、比較的、節約となる取組をしている人が多い。
- ・60代、70代が総じて取り組んでいる割合が高い。
- ・②に関して、ごみ等の意識が高いのは60代、70代に多い。
- ・⑧に関して、飲食物購入時の手前取りは20代がピークでその後は減少傾向にある。

7. 「必要・関心がある・参加したい」と考えている環境に関する情報や学習機会等

①～⑪の項目（上位3項目選択）

番号	項目	1位	2位	3位
①	PFOSやPF0A、アスベストやダイオキシンなどの有害物質に関すること	15	3	6
②	ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること	53	38	18
③	地球温暖化に関する状況やその対策に関すること	44	35	15
④	再エネ・省エネなどの環境への取り組みに対する補助に関すること	22	39	27
⑤	自然とのふれあい（山・川）に関すること	20	12	13
⑥	生物多様性（野生生物の保護、外来種など）の管理に関すること	10	14	20
⑦	日頃から取り組める環境に配慮した行動に関すること	22	26	34
⑧	滝川の農業体験に関する取り組みのこと	8	14	11
⑨	食をとおしての環境学習に関する取り組みのこと	6	14	32
⑩	市の環境関連の調査結果や環境施策などの情報に関すること	10	7	15
⑪	その他	2	0	2



その他の内容
地震対策
水害対策

・票が多かったのは、「②ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること」、「③地球温暖化に関する状況やその対策に関すること」「④再エネ・省エネなどの環境への取り組みに対する補助に関すること」、「⑦日頃から取り組める環境に配慮した行動に関すること」である。

7. 「必要・関心がある・参加したい」と考えている環境に関する情報や学習機会等（平成27年度比較）

令和 7 年度				
番号	項目	1位	2位	3位
①	PFOSやPFOA、アスベストやダイオキシンなどの有害物質に関すること	7.1%	1.5%	3.1%
②	ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること	25.0%	18.8%	9.3%
③	地球温暖化に関する状況やその対策に関すること	20.8%	17.3%	7.8%
④	再エネ・省エネなどの環境への取り組みに対する補助に関すること	10.4%	19.3%	14.0%
⑤	自然とのふれあい（山・川）に関すること	9.4%	5.9%	6.7%
⑥	生物多様性（野生生物の保護、外来種など）の管理に関すること	4.7%	6.9%	10.4%
⑦	日頃から取り組める環境に配慮した行動に関すること	10.4%	12.9%	17.6%
⑧	滝川の農業体験に関する取り組みのこと	3.8%	6.9%	5.7%
⑨	食をとおしての環境学習に関する取り組みのこと	2.8%	6.9%	16.6%
⑩	市の環境関連の調査結果や環境施策などの情報に関すること	4.7%	3.5%	7.8%
⑪	その他	0.9%		1.0%

平成27年度				
番号	項目	1位	2位	3位
①	アスベストやダイオキシンなどの有害物質に関すること	8.4%	7.2%	7.8%
②	ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること	45.5%	16.5%	12.6%
③	地球温暖化に関する状況やその対策に関すること	16.2%	31.8%	12.0%
④	自然とのふれあい（山・川）に関すること	9.9%	10.2%	10.8%
⑤	生物多様性（野生生物の保護、外来種）の管理に関すること	4.2%	7.8%	4.8%
⑥	市民が取り組める環境に配慮した行動（自然保護、環境教育など）に関すること	8.1%	17.1%	21.9%
⑦	市の環境関連の調査結果や環境施策などの情報に関すること	5.4%	8.7%	29.4%
⑧	その他	2.4%	0.6%	0.6%

- ・「②ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること」や「⑦日頃から取り組める環境に配慮した行動に関すること」について関心が高いことがわかるが、平成 27年度のアンケート結果と比較すると回答者数の割合が減った。
- ・「4.滝川市が優先すべき環境の取組」と同様に有害物質、ごみに関する項目の関心度が減っていることがわかる。理由についても「4.滝川市が優先すべき環境の取組」で推測したとおりと考えられる。
- ・新規で追加した令和 7 年度の④について、回答している割合が一定おり、市民の関心が高い項目であることがわかる。

8. 「デコ活」について

(1) デコ活の認知率

番号	項目	該当	割合
①	知っている	10	4%
②	聞いたことはあるが詳しく知らない	69	28%
③	まったく知らない	167	68%

(2) デコ活の取組率

番号	項目	該当	該当
①	取り組んでいる	165	70%
②	取り組んでいない	72	30%

(3) デコ活にどう対応すべきか

番号	項目	該当	該当
①	今すぐに対応すべき	80	34%
②	ゆっくりと対応すればよい	86	36%
③	対応する必要はない	3	1%
④	わからない	66	28%
⑤	その他	2	1%

その他の内容

対応したいがどうすればよいかわからない

デコ活の方法やマニュアルがあれば対応できる。

やりたい人だけすればよい。

すでに手遅れだと思います。新しい得策があれば願います。

できる所からできる事を。

・認知度としては高くないが、デコ活の内容としては取り組んでいる人が多い。

・デコ活については、「①今すぐに対応すべき」と考えている人と「②ゆっくりと対応すればよい」と考えている人が概ね半々ではあるが、「④わからない」と回答している人が多い印象を受ける。

・「デコ活」については、取組内容を広く認知してもらえようような活動が必要であると考えられる。

9.滝川市の環境についての意見等

主な内容・キーワード分類別整理

（「第3次滝川市環境基本計画（骨子案）について」計画の対象としてとらえる環境の分野（案）より）

①生活環境

ごみのポイ捨て・不法投棄対策、リサイクルの推進、小さいごみ袋の導入、ごみ収集回数の見直し、除排雪の対応、道路の補修・整備、公園・子どもの遊び場の整備、バス・タクシーの交通手段の確保、駅前・商店街の再開発、公共施設の適正管理、空き家・空き地対策

②地球環境

悪臭・騒音・振動などの公害対策、街灯の整備・管理

③自然環境・農業

野生鳥獣（キツネ・カラスなど）の対策、農業の活性化、街路樹の整備・管理

④環境コミュニティ

環境教育の充実